

日医標準レセプトソフト クラウド版  
構築手順  
第 3.1 版

2020 年 4 月 30 日

日本医師会 ORCA 管理機構株式会社

## 目次

1	更新履歴 .....	2
2	概要 .....	3
3	データベースエンコード変換 .....	6
3.1	エンコード確認 .....	6
3.2	エンコード変換 .....	7
4	グループ診療 削除および抽出 .....	8
5	データベースのダンプ .....	8
5.1	ミドルウェア バージョンアップ .....	8
5.2	プログラム更新、マスタ更新 実行 .....	8
5.3	不要なテーブル 削除 .....	9
5.4	データベーススキーマチェック 実行 .....	9
5.5	バックアップコマンド 実行 .....	9
6	クライアントソフト(monsiaj)の設定 .....	10
6.1	基本設定 .....	10
6.2	SSL 設定 .....	11
7	クライアントソフト(glclient2)の設定 .....	13
7.1	基本設定 .....	13
7.2	SSL 設定 .....	14
8	動作確認 .....	16

# 1 更新履歴

---

- 2017年5月16日 第1版
- 2018年4月1日 第2.0版 全面改訂
- 2018年6月28日 第2.1版 「ミドルウェアの更新手順」を追記
- 2018年7月27日 第2.2版 「グループ診療 削除および追加」を追記
- 2019年7月26日 第3版 クラウド環境バージョンアップのため改訂
- 2020年4月30日 第3.1版 データベースエンコード変換を修正

## 2 概要

---

本資料は、日医標準レセプトソフトクラウド版の構築手順を以下に記述する。

いままでの環境によって手順が異なるので、該当手順を参照の上、実施する。

### ■いままでがオンプレ環境の場合

- (1) ネットワーク環境構築(VPN 設定含む)
- (2) 日レセが 5.0.0 の場合は 5.1.0 へバージョンアップ
- (3) データベースエンコード変換
- (4) グループ診療 削除および抽出 ※グループ診療の設定をおこなっている場合のみ
- (5) データベースのダンプ
- (6) クラウド環境へデータをインポート
- (7) クライアントソフト(monsiaj/glclient2)の設定
- (8) プリンタの設定
- (9) レセ電ビューアの設定
- (10) 動作確認

### ■いままでが他メーカーレセコンでデータ移行をおこなう場合

- (1) ネットワーク環境構築(VPN 設定含む)
- (2) オンプレ環境(日レセ 5.1)を準備および設定
- (3) 既存レセコンからのデータ移行
- (4) データベースエンコード変換
- (5) データベースのダンプ
- (6) クラウド環境へデータをインポート
- (7) クライアントソフト(monsiaj/glclient2)の設定

(8) プリンタの設定

(9) レセ電ビューアの設定

(10) 動作確認

■新規開院等データ移行をおこなわない場合

(1) ネットワーク環境構築(VPN 設定含む)

(2) クライアントソフト(monsiaj/glclient2)の設定

(3) プリンタの設定

(4) レセ電ビューアの設定

(5) 動作確認

下記の項目については、本ドキュメントでは説明を省略する。

各ドキュメントを参照のこと

・ ネットワーク環境構築(VPN 設定含む)

- ORCA VPN (ルータ型) サービス 設置・操作マニュアル [PDF]

- ORCA VPN(ソフト型)サービス マニュアル[PDF]

<https://www.orca.med.or.jp/ginbee/>

- ・日レセが 5.0.0 の場合は 5.1.0 へバージョンアップ
  - 日医標準レセプトソフト ver 5.0.0(trusty/xenial)の提供  
[https://www.orca.med.or.jp/receipt/update/package\\_5/ver510.html](https://www.orca.med.or.jp/receipt/update/package_5/ver510.html)
  - 日レセ運用環境移行手引き  
<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/migration.html>

**※重要**

DB インポート時にクラウド環境で実行されるので本作業は必須ではありませんが、作業時間がデータ量に依存することや、エラーが発生した場合、オンプレ環境での調査対応が必要となりますので、事前にオンプレ環境にて実施していただくことを推奨します。

- ・オンプレ環境を準備および設定
  - Ubuntu 18.04LTS Bionic Beaver 日医標準レセプトソフトインストール手順書  
<https://www.orca.med.or.jp/receipt/download/bionic/>
  - Ubuntu 16.04LTS Xenial Xerus 日医標準レセプトソフトインストール手順書  
<https://www.orca.med.or.jp/receipt/download/xenial/>
- ・既存レセコンからデータ移行
  - 他社レセコンからのデータ移行について  
<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/convert.html>
- ・クラウド環境へデータをインポート
  - 医療機関向けシステム管理サイトアクセス手順 [PDF]  
<https://www.orca.med.or.jp/ginbee/>

- ・レセ電ビューアの設定

- レセ電ビューア

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jma-receview.html>

[http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/3-5.orcacloud-receviewsetting\\_20190219.pdf](http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/3-5.orcacloud-receviewsetting_20190219.pdf)

### 3 データベースエンコード変換

---

クラウド環境ではデータベースエンコーディングが UTF-8 である必要がある。

オンプレ環境が EUC-JP の場合は以下の手順で変換をおこなう。

#### ※重要

DB インポート時にクラウド環境で実行されるので本作業は必須ではありませんが、作業時間がデータ量に依存することや、エラーが発生した場合、オンプレ環境での調査対応が必要となりますので、事前にオンプレ環境にて実施していただくことを推奨します。

#### 3.1 エンコード確認

端末より以下のコマンドで実行

```
$ sudo -u orca psql -l
```

Name	Owner	Encoding	Collate	Ctype	Access
orca	orca	EUC_JP	C	C	

～(略)～

データベース名 “orca” のエンコードが “EUC\_JP” となっている場合は変換します。

## 3.2 エンコード変換

jma-receipt の停止

```
$ sudo service jma-receipt stop
```

/etc/jma-receipt/db.conf に以下の文字を記入して保存する。

```
DBENCODING="UTF-8"
```

上記内容をコピーすると、ダブルクォーテーションが全角となってしまいますので、半角に置き換えてください。

変換のチェックをおこなう。

```
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/receipt/ubuntu/misc/jma-dbconvert-20200417.tar.gz
$ tar zxvf jma-dbconvert-20200417.tar.gz
$ cd jma-dbconvert-20200417/
$ sudo -u orca ./jma-dbconvert.sh -t
```

上記でエラーがないことを確認してください。

エラーが発生した場合は、個別対応をおこないますので、ORCA サポートセンタへお問い合わせください。

お問い合わせ先：[ginbee-support@orcamo.jp](mailto:ginbee-support@orcamo.jp)

変換を実行する。

```
$ sudo -u orca ./jma-dbconvert.sh
```

変換されているか確認する。

```
$ sudo -u orca psql -l
```



Name が orca の行の Encoding が UTF8 になっていることを確認してください。

jma-receipt を開始する。

```
$ sudo service jma-receipt start
```

日レセククライアントを起動させてデータ内容を確認する。

※文字化け、患者件数など

## 4 グループ診療 削除および抽出

---

クラウド環境では、オンプレでグループ診療の設定したデータベースを移行することができません。

1つのデータベース内に、1つの医療機関のみとなるよう、削除および抽出をおこなってください。

削除および抽出については、以下の Web サイトをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/grp.html>

## 5 データベースのダンプ

---

### 5.1 ミドルウェア バージョンアップ

以下のコマンドを実行して、ミドルウェアをバージョンアップする。

```
sudo apt-get update  
sudo apt-get dist-upgrade
```

### 5.2 プログラム更新、マスタ更新 実行

日レセククライアント起動しプログラム更新、マスタ更新を実行する。

## 5.3 不要なテーブル削除

以下のコマンドを実行して、不要なテーブルを削除する。

```
wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/fix_db_20170922.tgz

tar xvzf fix_db_20170922.tgz

sudo -u orca psql orca < fix_db_20170922.sql
```

※不要なテーブル削除時に、該当テーブルが存在しない旨のメッセージが表示される場合もありますが、その際は無視して問題ありません。

## 5.4 データベーススキーマチェック 実行

以下のコマンドを実行して、データベーススキーマチェックを実行する。

```
$ cd /tmp

$ rm -f jma-receipt-dbscmchk.tgz

$ rm -rf jma-receipt-dbscmchk

$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz

$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz

$ cd jma-receipt-dbscmchk

$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

上記でエラーがないことを確認してください。

エラーが発生した場合は、個別対応をおこないますので、ORCA サポートセンタへお問い合わせください。

お問い合わせ先：[ginbee-support@orcamo.jp](mailto:ginbee-support@orcamo.jp)

## 5.5 バックアップコマンド 実行

以下のコマンドを実行して、データベースのダンプファイルを作成する。

```
$ sudo service jma-receipt stop  
  
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > orca.dump
```

## 6 クライアントソフト(monsiaj)の設定

以下の手順に従って、クライアントソフトの設定をおこなう。

別途、CA 証明書ファイル(ca.crt)、クライアント証明書ファイル(\*.crt)、クライアント秘密鍵ファイル(\*.pem)、クライアント証明書ファイル p12 形式(\*.p12)、クライアント証明書パスワードをクライアント端末にコピーしておくこと。

### 6.1 基本設定



サーバ :

VPN の場合 : <https://sms.orca.orcamo.jp/rpc/>

TLS1.2 の場合 : <https://sms.glorca.orcamo.jp/rpc/>

ユーザ : オンプレ環境で利用していたユーザ名

パスワード：オンプレ環境で利用していたパスワード

※オンプレ環境からデータインポートしていない場合は、ユーザ名、パスワードともに ormaster

## 6.2 SSL 設定



SSL クライアント認証を使用：チェックする

CA 証明書：提供された CA 証明書

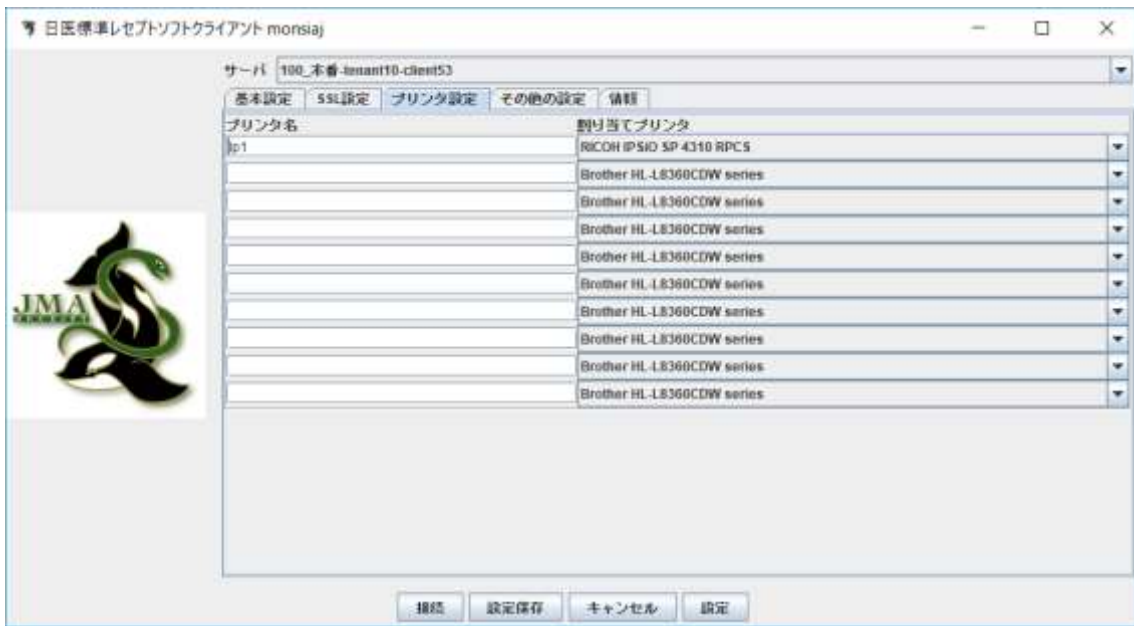
※ファイル名：ca.crt

クライアント証明書：提供されたクライアント証明書(p12 形式)

※拡張子が p12

証明書パスワード：提供されたクライアント証明書のパスワード

※拡張子が pass のファイルに記載されたパスワード



日レセクラウドではクライアント印刷になるため、クライアント端末毎にプリンタの設定をおこなう。

## 7 クライアントソフト(glclient2)の設定

---

### 7.1 基本設定



サーバ :

VPN の場合 : <https://sms.orca.orcamo.jp/rpc/>

TLS1.2 の場合 : <https://sms.glorca.orcamo.jp/rpc/>

ユーザ名 : オンプレ環境で利用していたユーザ名

パスワード : オンプレ環境で利用していたパスワード

※オンプレ環境からデータインポートしていない場合は、ユーザ名、パスワードともに ormaster

## 7.2 SSL 設定

SSL

クライアント認証を使用：チェックする

CA 証明書ファイル：提供された CA 証明書

※ファイル名：ca.crt

証明書ファイル名(\*.crt)：提供されたクライアント証明書

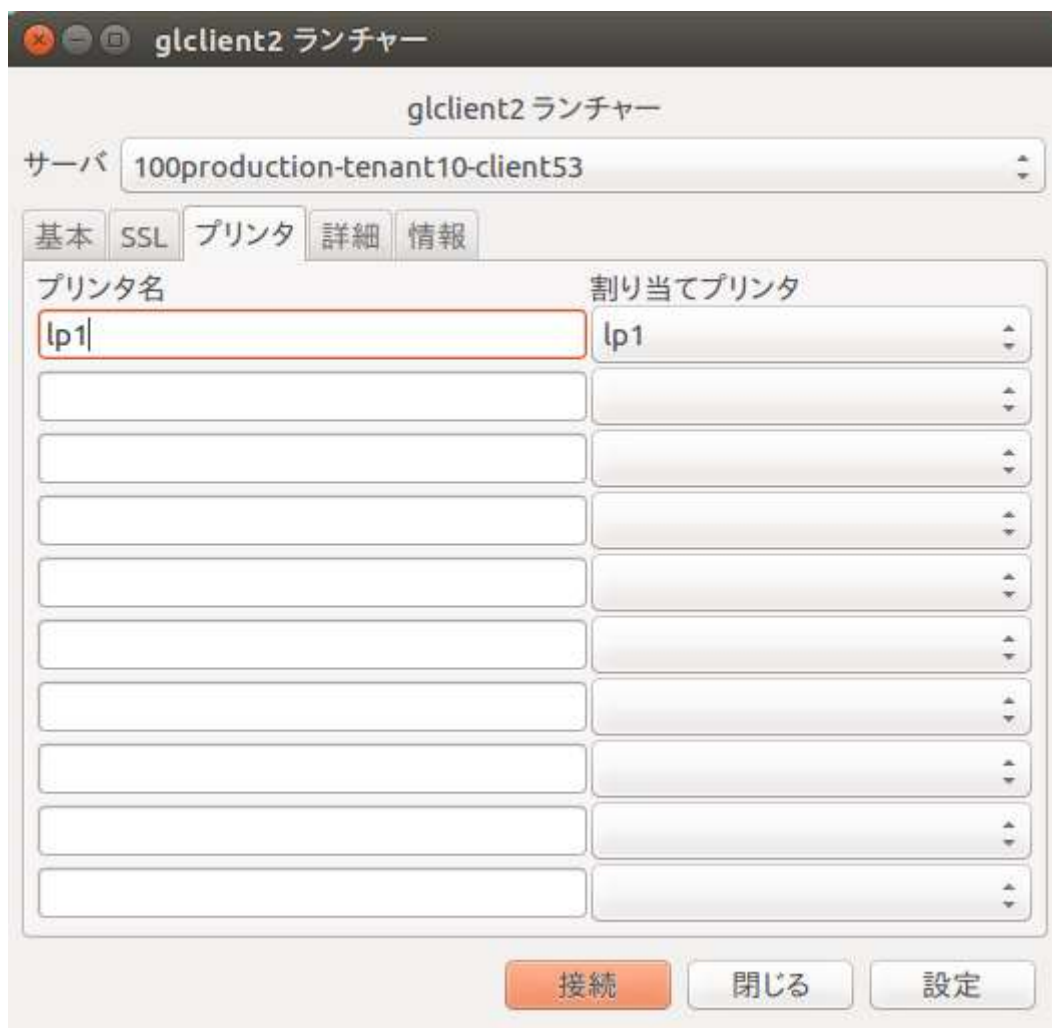
※拡張子が crt

秘密鍵ファイル名(\*.pem) : 提供された秘密鍵ファイル

※拡張子が pem

秘密鍵パスフレーズ : 提供されたクライアント証明書のパスワード

※拡張子が pass のファイルに記載されたパスワード



日レセクラウドではクライアント印刷になるため、クライアント端末毎にプリンタの設定をおこなう。



## 8 動作確認

---

クライアントを接続し、動作確認をおこなう。

動作確認のポイント

- (1) データが移行されているか
  - ・患者数
  - ・最終登録データ
- (2) テスト患者の登録で問題ないか
- (3) 窓口帳票の印刷に問題ないか
- (4) 日次統計、月次統計の処理および印刷に問題ないか
- (5) レセプト作成の処理および印刷に問題ないか
- (6) レセ電作成処理およびファイル保存に問題ないか
- (7) 社保総括表、国保総括表、後期高齢者総括表、地方公費帳票の処理および印刷に問題ないか